

## 令和5年度（県立横須賀工業高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上 （公務外非行の防止、 職員行動指針の周知・ 徹底を含む）	教育公務員であるとの自覚を深め、生徒、保護者及び社会から信頼される行動をとる。	神奈川県職員行動指針を再確認させ、教育公務員としての自覚を促した。その後も、機会をとらえ管理職から指示伝達や意識啓発を行った。また、7月の不祥事防止研修会では休暇取得や出張、職専免等の制度の再確認を行った。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	教育公務員としての自覚を深め、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	不祥事防止研修会では、動画や啓発資料を活用して意見交換を行うとともに、「教育長メッセージ」をはじめとした研修用動画を全員視聴し、再認識を図った。また、記者発表等の機会を通じて、管理職が教職員のわいせつ行為事案の事例を示し、注意喚起と自分事として考える意識付けの徹底を図った。特に生徒等とのSNSの禁止について何度も確認し、共有した。
職場におけるハラスメント行為の防止	職員が当事者意識を持って取り組み、ハラスメント行為を未然に防止する。	不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、ハラスメントに該当する事例を示しながら、考える機会を設けた。記者発表の機会を通じて、管理職が教職員のハラスメント行為事案を示し、注意喚起を徹底した。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、信頼感が育まれる適切な生徒対応に努め、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	体罰防止ガイドラインを配付し意識の啓発に努めた。また、記者発表の機会を通じて、部活動等における不適切な指導の具体例を示した。また、不祥事防止職員啓発資料や部活動に関する通知をもとに部活動にあり方等についても確認した。12月には学校全体における「体罰」実態調査を行い、自らの言動も含めて再確認を行った。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	調査書や通知表の作成及び取り扱い、成績処理に関するミス防止する。	定期試験・成績処理について不祥事防止職員啓発・点検資料を活用して点検を行った。定期試験の機会や不祥事防止研修会を通じて、調査書や通知表におけるミスが生徒の進路活動に大きく影響することや信用失墜につながることにについて再確認した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報等の不適切な取り扱い及び流失を未然に防止し、情報セキュリティ対策の徹底を図る。	個人情報事故事例集を配付し個人情報管理の徹底について再認識を行った。また、情報セキュリティの観点から対策重要度ごとの適切な管理について確認し、さらなる意識の定着を図った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転の防止、交通法規の順守	交通法規を守り、交通事故や酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	12月に交通事故および飲酒運転・酒気帯び運転の防止に係る研修会を実施し、法規の順守を徹底した。
会計事務等の適正な執行	会計事務処理に関する事故の発生を未然に防止する。備品の適切な管理を行う。	私費会計の処理方法について確認した。また、定期的にクロームブックやiPad貸出物品の履行確認を行うとともに、各科の備品についても再度現物確認を行った。
入学者選抜業務に係る事故防止	入学者選抜業務における事故を未然に防止する。	新たな出願システムの導入に伴い、従来の業務と大きく異なるため、職員会議を通じて実施手順と職員の業務内容の確認を行った。また、入選業務における事故例を例示しながら共有した。特に、公平な判断と正確な採点を徹底し、事故防止を図った。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

年間を通じて不祥事防止職員啓発資料などを活用し、各グループが主体となった研修を行うことができた。次年度も基本に立ち返り各テーマを自分事として捉えられるような研修を実施するとともに、事故や不祥事防止について改めて確認をお願いしたい。また、いつでも職員が通知や研修会資料を閲覧・確認できるような環境整備を引き続きお願いしたい。